

2023年3月期 決算説明会

2023年5月26日

株式会社エヌアイデイ

(証券コード：2349)

1. 2023年3月期通期連結決算概要
 2. 2024年3月期通期連結業績見通し
 3. 昨年度の成果と今年度の取り組み
 4. 配当予想
 5. トピックス
- 付録：データ資料

この資料に掲載しております当社の計画及び予想、戦略などは、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後の日本経済や情報処理業界の動向、新たなサービスや技術の進展、不確定要素などにより、実際の業績とは大きく異なる可能性がございます。あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

1. 2023年3月期通期連結決算概要

2. 2024年3月期通期連結業績見通し

3. 昨年度の成果と今年度の取り組み

4. 配当予想

5. トピックス

付録：データ資料

テニック株式会社の紹介（新規グループ会社）

●テニック株式会社の概要

所在地	東京都渋谷区笹塚一丁目64番8号 Daiwa笹塚ビル 5階
代表者	代表取締役社長 菊地 忍
事業内容	1. 自社製品・サービス開発事業 2. ECサイト構築・開発・支援事業 3. お客様向け受託開発支援事業 4. 先端技術・ソリューション開発支援事業 5. IDCソリューション事業
資本金	4,225万円
設立年月日	1988年4月30日

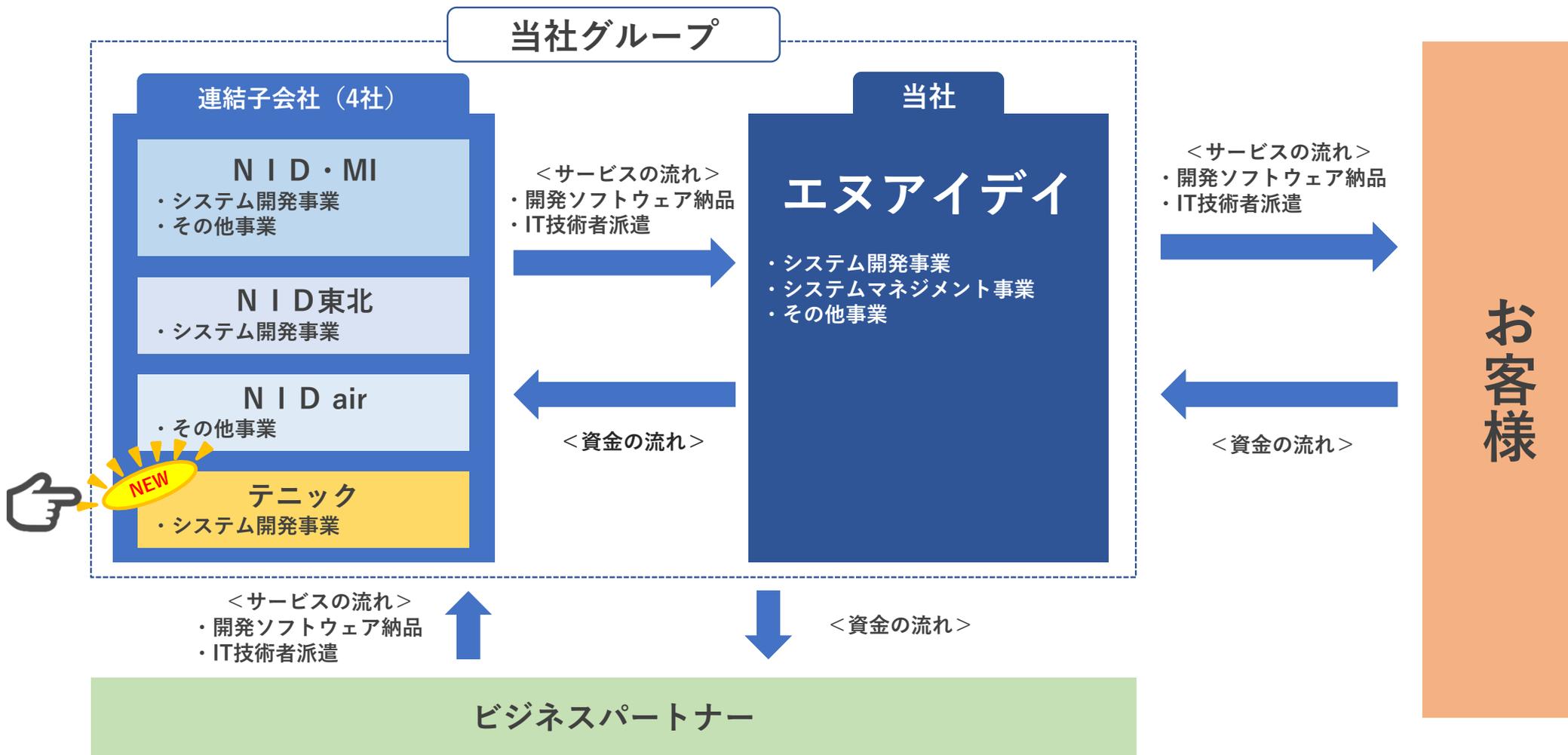


●テニック株式会社の略歴

- 1988年 テニック株式会社設立
- 1992年 データベースアクセスミドルウェア「KeySQL」を開発、日本オラクル社へOEM提供開始
- 1995年 組込みブラウザ「WorldTALK」を開発、複数の大手総合電機メーカーへ提供開始
- 2003年 サイト自動巡回・RPA支援ソフト「KeyAgent」を開発、DAL社へOEM提供開始
- 2007年 ECサイト・ソリューションパッケージ「ECVenus」を開発、大手通販グループへ導入
- 2009年 「ECVenus」ワンストップソリューションサービスを事業化、大手玩具メーカーへ導入
- 2020年 NTTドコモグループ 子会社化
- 2023年 エヌアイデイグループに参加

ECサイト構築ソリューション「ECVenus」を用い、ECサイトの構築提案から、導入支援、インフラ構築、カスタマイズ開発、保守運用支援までワンストップサービスとして提供しているほか、お客様向け受託開発、自社開発の製品・サービスも有しており、顧客からも高い評価を得ております。

事業の概要



連結損益計算書

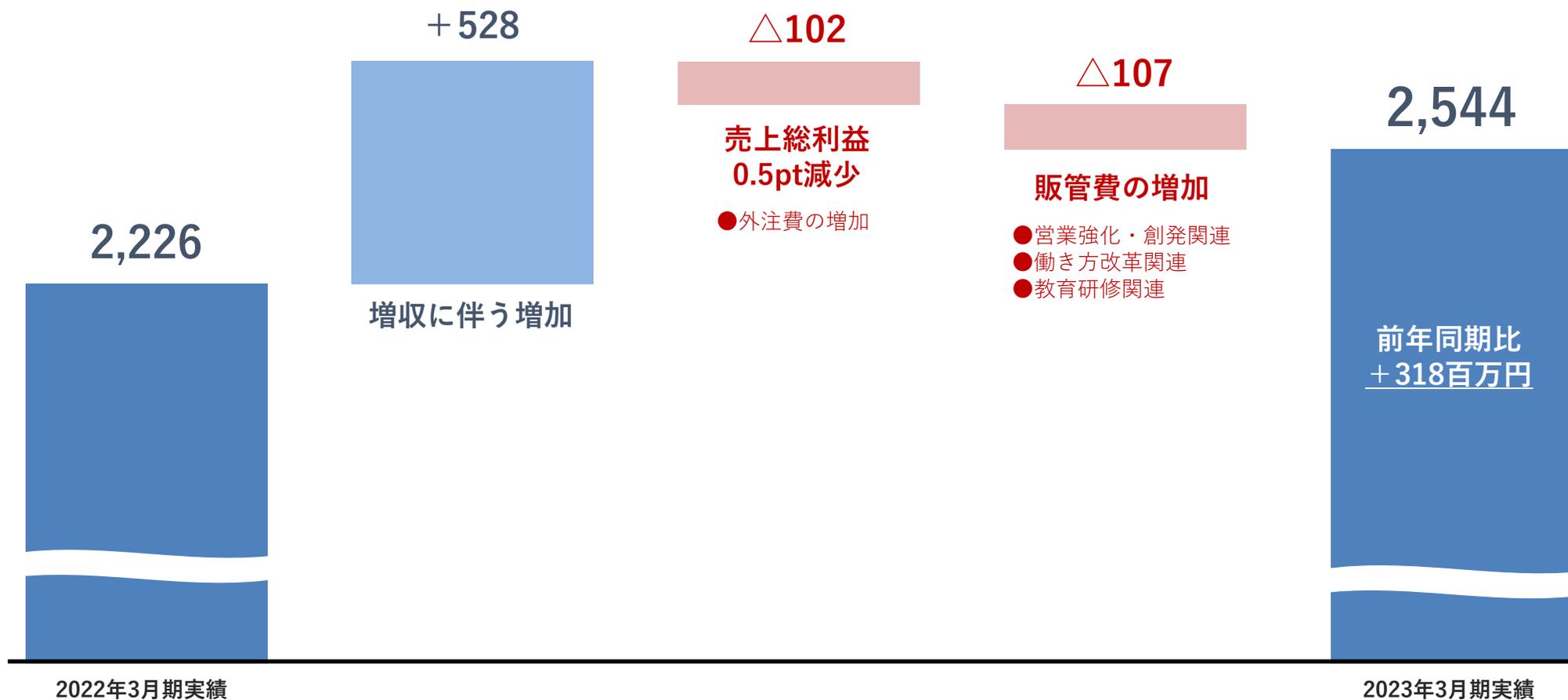
(単位：百万円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 修正予想	2023年3月期 実績	前期比	予想比
売上高	18,251	20,000	20,449	+12.0%	+2.2%
営業利益	2,226	2,400	2,544	+14.3%	+6.0%
営業利益率	12.2%	12.0%	12.4%	+0.2pt	+0.4pt
経常利益	2,466	2,550	2,742	+11.2%	+7.6%
経常利益率	13.5%	12.8%	13.4%	▲0.1pt	+0.7pt
当期純利益	1,631	2,090	2,210	+35.5%	+5.8%
当期純利益率	8.9%	10.5%	10.8%	+1.9pt	+0.3pt

営業利益差異分析（前年同期比較）

（単位：百万円）

●営業利益は前年同期比+318百万円



セグメント別売上・利益構成

(単位：百万円)

	2022年3月期 実績			2023年3月期 実績			前年同期比		
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率
システム 開発事業	12,182	1,689	13.9%	13,869	1,874	13.5%	+13.9%	+11.0%	△0.4pt
システム マネジメント事業	4,546	341	7.5%	4,938	441	8.9%	+8.6%	+29.5%	+1.4pt
その他事業	1,522	191	12.6%	1,640	220	13.4%	+7.7%	+15.0%	+0.8pt
連結計	18,251	2,226	12.2%	20,449	2,544	12.4%	+12.0%	+14.3%	+0.2pt

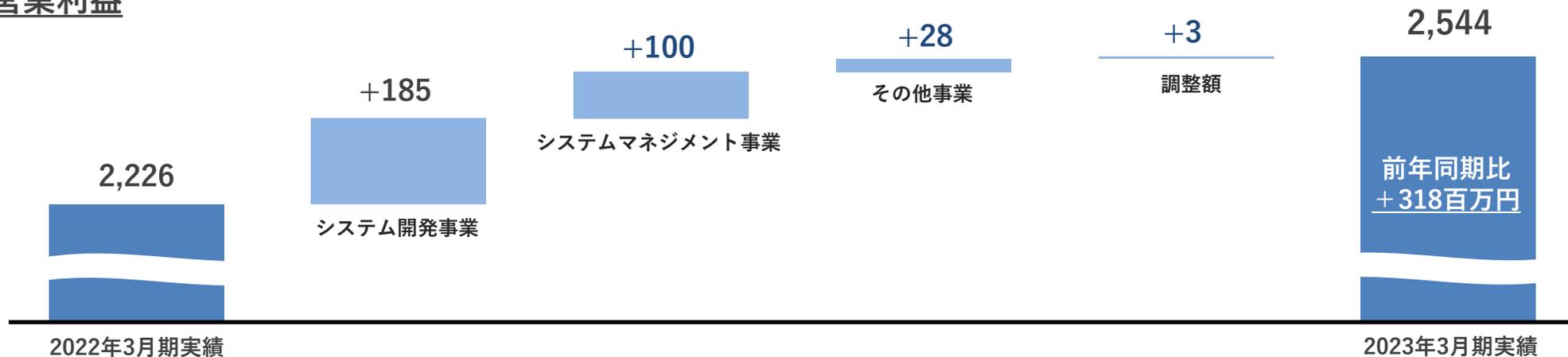
売上高・営業利益のセグメント別（前年同期比較）

（単位：百万円）

■売上高



■営業利益



システム開発事業

■売上高・営業利益

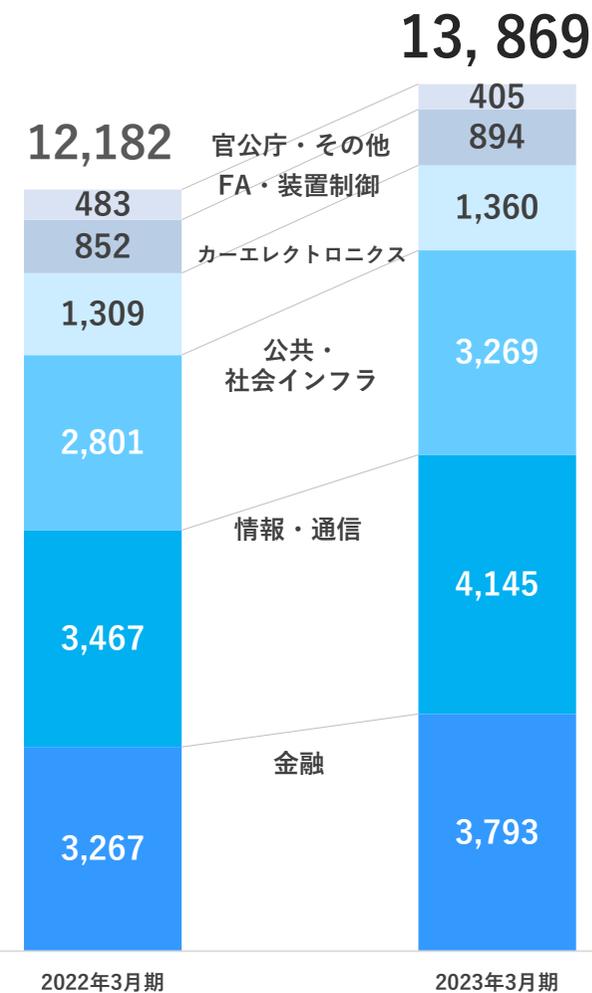
	2022年 3月期	2023年 3月期	前期比	要因
売上高	12,182	13,869	+ 13.9%	金融、情報・通信、公共・社会インフラ分野が増収
営業利益 (営業利益率)	1,689 (13.9%)	1,874 (13.5%)	+ 11.0%	増収に伴い増益

■分野別売上高

金融	3,267	3,793	+ 16.1%	生保・共済系が好調に推移
情報・通信	3,467	4,145	+ 19.6%	既存ビジネスが好調に推移
公共・社会インフラ	2,801	3,269	+ 16.7%	シェアサービス関連、医療関連が大きく増加
カーエレクトロニクス	1,309	1,360	+ 3.9%	主要顧客の開発中止が響くも、他顧客でリカバリー
FA・装置制御	852	894	+ 4.9%	スマートロック関連の受注が増加
官公庁・その他	483	405	△16.3%	一部顧客との取引見直しにより減収

■売上高・棒グラフ

(単位：百万円)



システムマネジメント事業

■売上高・営業利益

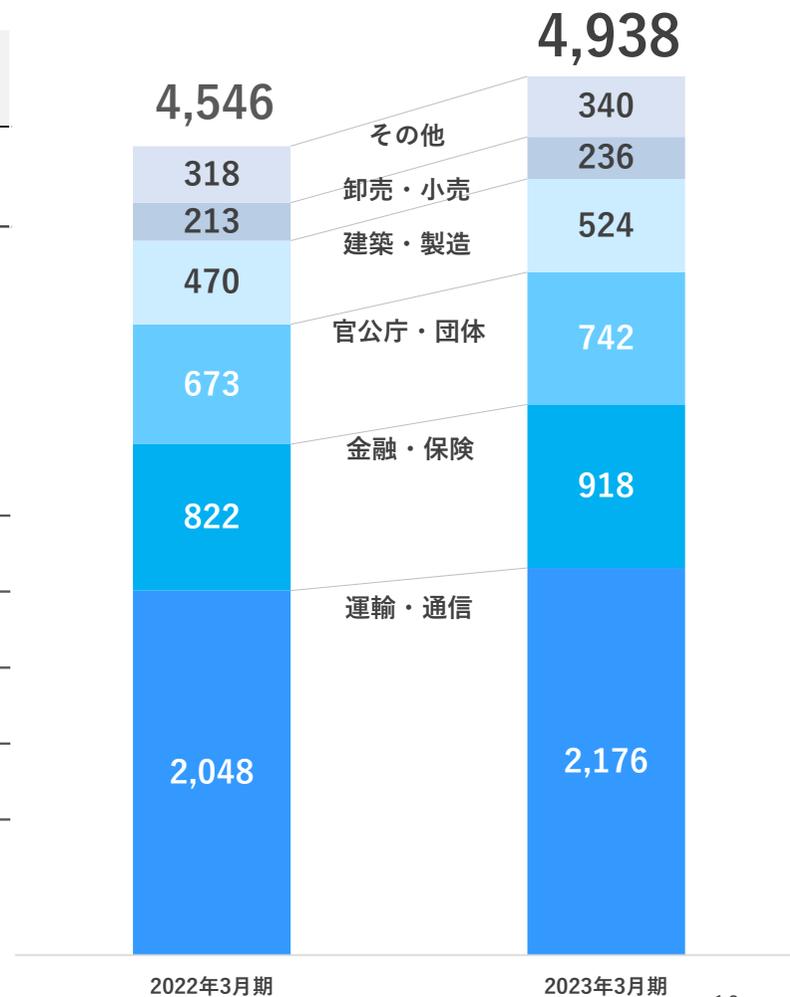
	2022年 3月期	2023年 3月期	前期比	要因
売上高	4,546	4,938	+ 8.6%	各分野が堅調に推移
営業利益 (営業利益率)	341 (7.5%)	441 (8.9%)	+ 29.5%	運輸・通信、金融・保険分野 の売上増により増益

■分野別売上高

運輸・通信	2,048	2,176	+ 6.2%	新型コロナウイルスの影響が 緩和し受注が回復
金融・保険	822	918	+ 11.7%	構築系案件の増加により増収
官公庁・団体	673	742	+ 10.4%	地方自治体からの受注が増加
建築・製造	470	524	+ 11.6%	住宅系メーカーが好調に推移
卸売・小売	213	236	+ 10.7%	新規顧客獲得により増加
その他	318	340	+ 6.9%	—

■売上高・棒グラフ

(単位：百万円)



その他事業

■売上高・営業利益

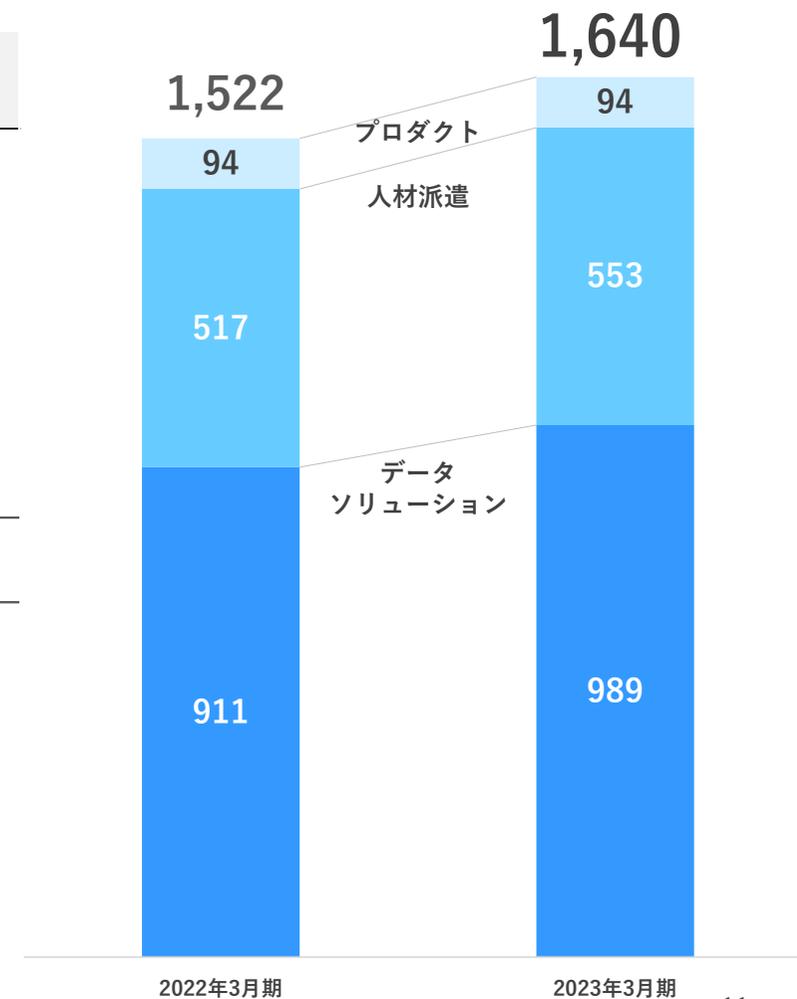
	2022年 3月期	2023年 3月期	前期比	要因
売上高	1,522	1,640	+ 7.7%	データソリューション、人材派遣が寄与し増収・増益
営業利益 (営業利益率)	191 (12.6%)	220 (13.4%)	+ 15.0%	

■分野別売上高

データソリューション	911	989	+ 8.6%	新型コロナウイルス関連の保険給付金申請入力作業が寄与
人材派遣	517	553	+ 6.9%	新規顧客案件が好調に推移し増収
プロダクト	94	94	△ 0.2%	—

■売上高・棒グラフ

(単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減額	主な増減要因
流動資産	15,468	16,875	+ 1,406	現金及び預金 + 1,204
固定資産	6,435	7,144	+ 709	売掛金 + 267 のれん + 231 投資有価証券 + 432
資産合計	21,904	24,020	+ 2,115	
流動負債	2,801	3,002	+ 201	買掛金 + 117 未払金 △114
固定負債	3,002	3,106	+ 104	未払法人税等 + 61 未払消費税等 + 91
負債合計	5,803	6,108	+ 305	
純資産合計	16,101	17,911	+ 1,810	利益剰余金 + 1,954 その他有価証券評価差額金 △143
負債純資産合計	21,904	24,020	+ 2,115	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	主な要因
営業活動によるCF	1,650	2,086	税金等調整前当期純利益 +3,178 売上債権の増加 △150 棚卸資産の減少 +112
投資活動によるCF	△318	△1,214	投資有価証券の取得による支出 △1,269 投資有価証券の売却及び償還による収入 +843 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 △849
財務活動によるCF	△617	△267	配当金の支払額 △255
現金及び現金同等物の増減額	713	604	
現金及び現金同等物の期末残高	11,783	12,387	

1. 2023年3月期通期連結決算概要

2. 2024年3月期通期連結業績見通し

3. 昨年度の成果と今年度の取り組み

4. 配当予想

5. トピックス

付録：データ資料

国内経済

●大企業業況判断DI

全産業は横ばい傾向も、大企業・製造業の業況判断は5四半期連続で悪化。新型コロナウイルス感染症の影響は和らぐも、原材料やエネルギーの価格上昇、海外経済の減速、半導体需要の減退などが重荷に。

(日銀短観2023年3月調査)

国内IT市場

●2023年国内ITサービス市場見通し

世界的なインフレーションや景気後退懸念といった先行きの不透明感の増大に伴い、ITサービス投資抑制の影響が懸念される。一方、半導体／部材不足による製品の調達遅延に伴うハードウェア関連サービス市場へのマイナス影響の段階的な解消に加え、デジタルビジネス化を図る国内企業のシステム刷新および新規システム構築の需要に支えられ、堅調な成長を継続する見込み。

(IDC Japan2023年4月4日発表)

当社への影響

●システム開発事業は堅調に推移も外部要因により一部業種に不透明感

金融分野は概ね堅調に推移するものの、業種によっては円安や原材料高が重しとなり、不透明感が増していくものと見込む。

●システムマネジメント事業は緩やかな回復を見込む

一部主要顧客のシステム投資は不透明な状況ではあるが、緩やかな回復を見込む。

●その他事業はデータソリューション事業の特需剥落のため、前期比で厳しい状況を見込む

2024年3月期通期連結業績見通し

●人材投資や原価増を織り込み、増収減益を予想

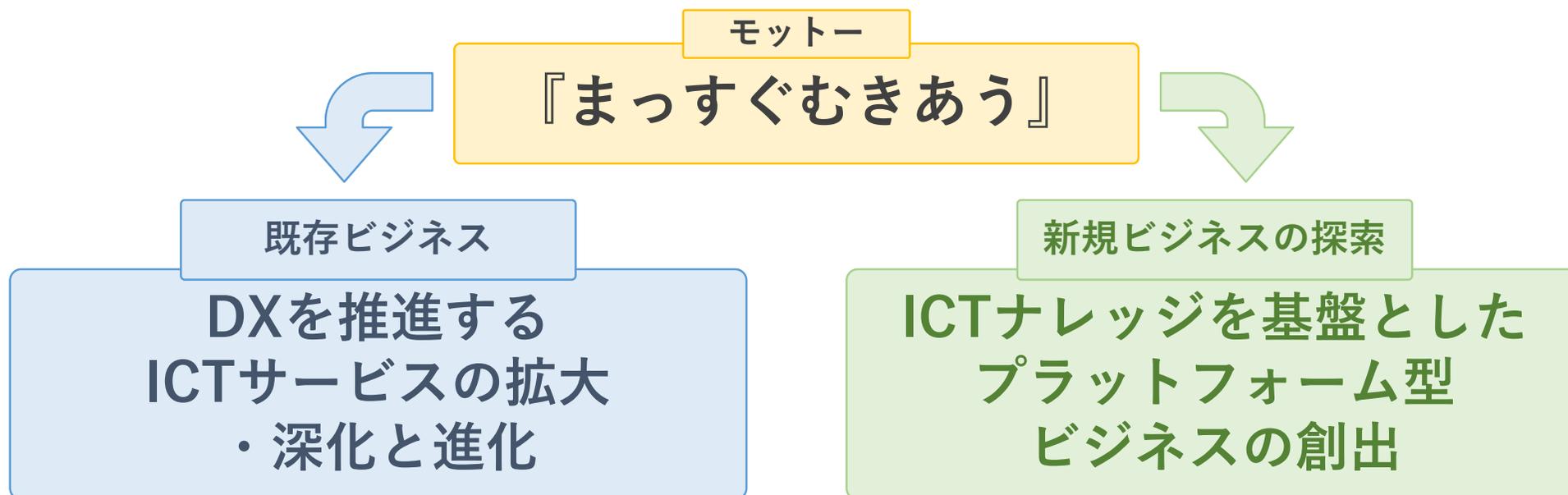
	2023年3月期 実績	2024年3月期 通期予想	前期比
売上高	20,449	21,000	+551
営業利益	2,544	2,400	△144
経常利益	2,742	2,560	△182
当期純利益	2,210	1,760	△450

2024年3月期通期連結業績見通し（セグメント別）

（単位：百万円）

	2023年3月期 実績		2024年3月期 通期予想		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
システム開発事業	13,869	1,874	14,420	1,830	+551	△44
システム マネジメント事業	4,938	441	4,880	400	△58	△41
その他事業	1,640	220	1,700	170	+60	△50
連結計	20,449	2,544	21,000	2,400	+551	△144

1. 2023年3月期通期連結決算概要
 2. 2024年3月期通期連結業績見通し
 - 3. 昨年度の成果と今年度の取り組み**
 4. 配当予想
 5. トピックス
- 付録：データ資料



DXを推進するICTサービスの拡大・深化と進化

【前年度実績】

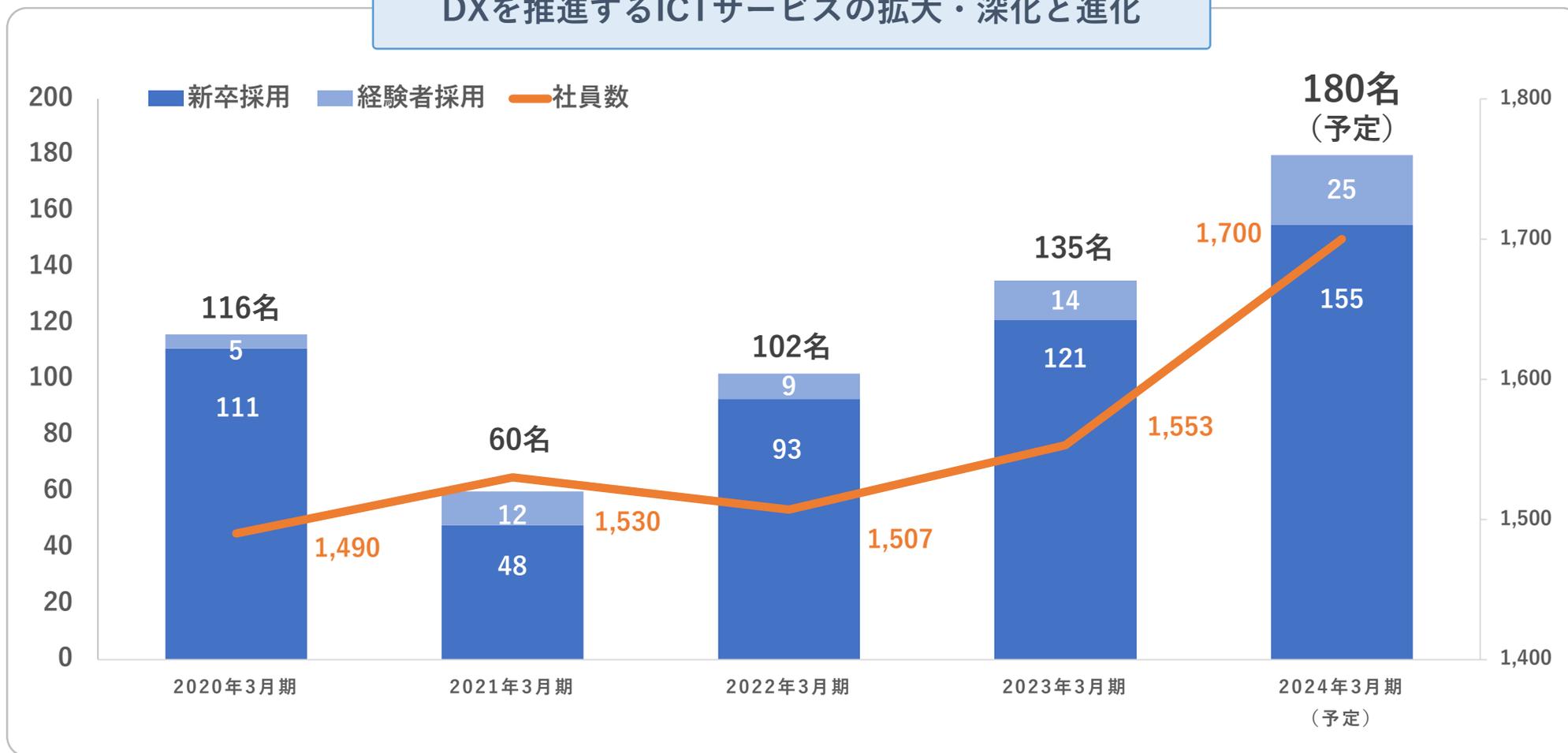
- 伴走型受託サービスを推進 既存顧客関係強化
- テニックのグループ会社化
- 採用人数：新卒採用121名 経験者採用14名

【今年度の取り組み】

- 伴走型受託サービスを引き続き強化
- 採用強化 新卒採用155名 経験者採用25名

昨年度の実績と今年度の取り組み（採用状況）

DXを推進するICTサービスの拡大・深化と進化



昨年度の実績と今年度の取り組み（新規ビジネスの探索）

ICTナレッジを基盤としたプラットフォーム型ビジネスの創出

●まち歩きサービス

誘客、回遊性向上を目的とした「まち歩きミッション」「デジタルスタンプラリー」を提供

他地域へ展開

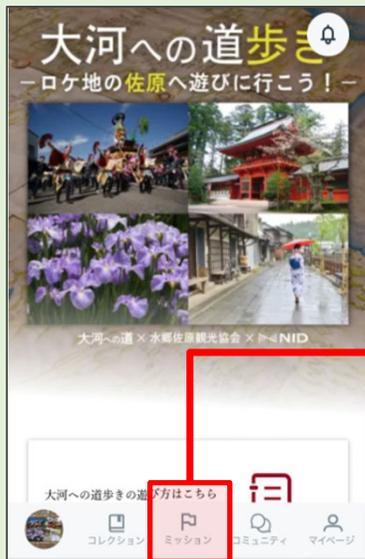
1年目（まち歩きサービス／佐原デジタルマップ）

2年目（横浜まち歩きサービス）

3年目以降

香取市佐原地区

まち歩きミッション



近隣店舗情報



デジタルスタンプラリー



誘客、利便性向上を目的とした「佐原デジタルマップ」をリリース。従来のマップではカバーし切れない、即時性のある地域情報（当日イベント、混雑状況など）をマップ内に表示。

横浜エリア

「佐原まち歩きサービス」をベース機能にしサービス提供



昨年度の実績と今年度の取り組み（新規ビジネスの探索）

ICTナレッジを基盤としたプラットフォーム型ビジネスの創出

●横浜まち歩きサービス

2023年5月提供開始。香取市佐原地区を対象にした「佐原まち歩きアプリ」（2022年5月提供）のノウハウを横展開

- ① 願いを叶えるジンクス『横浜三塔物語』にちなんだまち歩きで横浜を楽しむ
- ② ビール発祥のまち横浜でクラフトビールとスイーツを味わう
- ③ 参加者だけの限定デジタルコンテンツで新しいまち歩き体験



『横浜三塔物語』

- ① 「キングの塔」：神奈川県庁本庁舎
- ② 「クイーンの塔」：横浜税関
- ③ 「ジャックの塔」：横浜市開港記念会館

大さん橋、日本大通り、赤レンガ倉庫に散らばった3つの三塔ビュースポットを1日で巡ると「願いが叶う」と言われている。

昨年度の実績と今年度の取り組み（新規ビジネスの探索）

ICTナレッジを基盤としたプラットフォーム型ビジネスの創出

●佐原のあしたPROJECT

佐原を舞台に、地域の様々な課題に対して、これからのローカルビジネスを共創する実践型プログラム
伝統や地域資源、ネットワーク、デジタル技術を組み合わせ、同じ志をもつ仲間たちとともに、地域の活性化に挑戦

まち起業へ挑戦

企画立案から社会実験までを一気通貫で実践する



スタートアップ! ローカルビジネス



- ✓ これからのローカルビジネスを見つけだす
- ✓ 独自の発想やアイデアを実践してみる
- ✓ デジタル技術で課題を解決していく



■第一期 (2022年5月～2023年2月)

エントリー数：35名

参加チーム：12チーム

★デジタル賞

「SNS/Webメディア×地域ブランディング」

★ローカル賞

「佐原、サウナタウン化計画」

★ユニーク賞

- ①「あおぞら・にほんご～にほんご×香取で楽しもう～」
- ②「みんなでつくる佐原マルシェ～コミュニティの形成、佐原の活性化を目指して～」
- ③「My Garage 佐原」

★佐原のあした特別賞

「消費者直接販売を通じたカッコイイ農家づくり」

昨年度の実績と今年度の取り組み（新規ビジネスの探索）

ICTナレッジを基盤としたプラットフォーム型ビジネスの創出

●第二期佐原のあしたPROJECT（開催期間：2023年5月～2024年3月）

第一期から3つのポイントを強化し、2つのコースを新たに設定。新設コースの課題選択型は、地域事業者の課題に対し佐原信用金庫と共催で参加者を支援



スタートアップ！
ローカルビジネス

これからのローカルビジネスを見つけよう
独自の発想やアイデアを実践してみる
デジタル技術で課題を解決していく

第1ステージ 講座
2023年
7月▶10月
自由テーマ型
課題選択型
ゴール！
自ら立てたテーマ、もしくは3つのテーマから選択して実践プランを発表いただきます。

第2ステージ 実践
2023年 2024年
11月▶3月
チャレンジ！
優秀なプランを発表したチームが
株式会社のと社会実装に
取り組みます。

佐原のあした
応援金
総額
100万円

■引き続き実践重視型のプログラムを維持しつつ、下記3点を強化。

- ①地元金融機関の佐原信用金庫と共催で開催し、地域と連携した実践支援を強化。
- ②地域の実践を応援するコミュニティの育成を図り、ローカルビジネスが再生産されるシステム作りを支援強化。
- ③間口の広さは維持しつつ、より地域課題あるいはローカルビジネスに密接に関係するプロジェクトを組成、強化するための2つのコースを設定。

■2つのコースを新規に設定。

- ①自由テーマ型
⇒第一期踏襲。自分発の自由なアイデアで、実践プランの立案と試行を目指す。
- ②課題選択型
⇒新設。ローカルビジネスとしての成長を意識した、実践プランの立案と試行を目指す。第一期で炙り出された地域の課題や問題点（地域事業者発の課題）に対し、自らのスキルで貢献。佐原信用金庫と共催となる事で地域とのリレーションシップを強化。

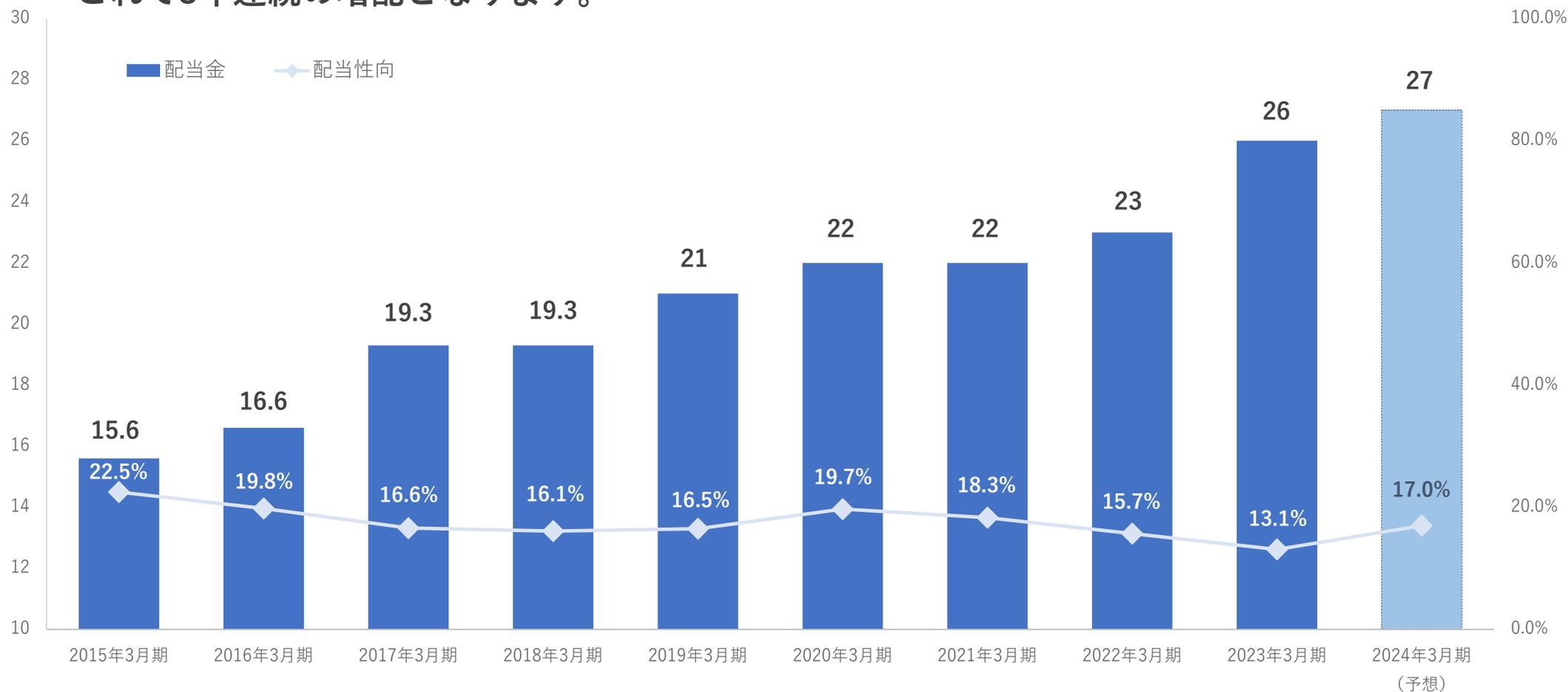
■課題選択型3つのテーマ

- ①小規模の観光業・飲食業のCRM改善（協力：地元飲食店）
- ②訪問サービス利用者に『贅沢なひと時』を（協力：訪問理美容）
- ③香取市利根川以北の観光

1. 2023年3月期通期連結決算概要
 2. 2024年3月期通期連結業績見通し
 3. 昨年度の成果と今年度の取り組み
 - 4. 配当予想**
 5. トピックス
- 付録：データ資料

配当予想

●今期の業績予想を踏まえ、期末配当予想を1株あたり27円といたします。
これで3年連続の増配となります。



1. 2023年3月期通期連結決算概要
 2. 2024年3月期通期連結業績見通し
 3. 昨年度の成果と今年度の取り組み
 4. 配当予想
 - 5. トピックス**
- 付録：データ資料

エヌアイデイ流スクラム開発のトリセツを書籍化

アジャイル開発の基礎からスクラム開発の進め方まで、事例を用いながら丁寧に解説をした『実践スクラム ～スクラム開発プレイヤーのための事例～』を2023年4月3日（月）に発売



エヌアイデイ流スクラムのトリセツ&スクラムの品質管理 【雛型】プロジェクト計画書兼報告書解説付き

本書をお勧めする理由は三つ。アジャイル開発の各種手法や契約のツボをまとめていること、スクラムをフツの受託開発企業が進める手順やヒントを解説していること、すぐ使える実践的な雛型と事例を含めていることです。本書により顧客満足と開発者満足の両方が無理なく得られ「私たちはスクラムでアジャイルになっているね!」と皆が幸せに成長し続ける足掛かりが得られることを願ってやみません。 早稲田大学 教授 鷺崎 弘宜

- ✓ アジャイル開発やスクラム開発をはじめて学びたい方
- ✓ アジャイル開発やスクラム開発に取り組むエンジニア、マネージャー
- ✓ 開発の実態に合うスクラム開発の進め方を模索している方

■主要目次

- 第1部 アジャイル開発の基礎
 - 第1章 アジャイル開発とは
 - 第2章 アジャイル開発の手法
 - 第3章 スクラム開発
 - 第4章 スクラム開発での契約

- 第2部 開発の現場
 - 第5章 受注
 - 第6章 計画・立ち上げ
 - 第7章 スクラム開発のフレームワーク
 - 第8章 品質管理
 - 第9章 終結

- 第3部 資料編
 - 資料1 インセプションデッキの作り方・注意点
 - 資料2 プロジェクト計画書の解説
 - 資料3 【雛型】プロジェクト計画書兼報告書
 - 資料4 見積リスク評価表
 - 資料5 スクラム開発プロセス俯瞰図
 - 資料6 スクラムの事例紹介
 - 資料7 用語集

■ITナレッジカフェ開設

サーバとは？
基礎から種類まで
初心者でもわかりやすく解説

2023/02/20

サーバとは、ユーザー（クライアント）からの要求（リクエスト）に対し、ネットワークを通じて必要な処理をおこなうコンピュータやプログラムのことを指します。ここではサーバについて、基礎からわかりやすく解説します。

記事を見る

▼サーバ ▼クラウド ▼インフラ ▼IT

サーバ構築とは？
基礎から種類、
クラウドの構築手順まで
初心者でもわかりやすく解説

2023/02/20

サーバ構築の基礎や手順について、初心者の方にもわかりやすく解説します。

記事を見る

▼サーバ ▼クラウド ▼インフラ ▼システム構築 ▼IT

インフラ構築とは？
基礎や構築から運用の流れ、
スキル習得方法まで解説

2023/01/23

ITインフラの基礎知識や構築から運用までの流れについて詳しく解説します。また、未経験者がインフラエンジニアの知識を習得する方法や、ITインフラをプロに依頼するメリット・デメリットもご紹介します。

記事を見る

1 基礎から種類、クラウドの構築手順まで初心者でもわかりやすく解説

2 インフラ構築とは？基礎や構築～運用の流れ、スキル習得方法まで解説

3 AWSとは？できることや構築手順をわかりやすく解説

4 サーバとは？基礎から種類まで初心者でもわかりやすく解説

プロダクト一覧

クラウドと未来を食話する

MIEL

さっそくさくさくらくらく使える

AI/FAG OHGAI

手軽で早くてちょうどいい

MESOBBLUE MSP

いっしょに びったりをつくり出す

あなたとDX挑戦室

■全上場企業ホームページ充実度ランキング受賞

日興アイ・アール「2022年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」において、「スタンダード市場部門 優良サイト」に初選出。



今後もIRサイトの取り組みを強化し、ステークホルダーの皆さまにタイムリーで分かりやすい情報提供ができるよう努めて参ります。

弊社HP上でITに関連するコラムを不定期で更新して参ります。様々な情報を発信しておりますので、是非ご覧ください。

ご清聴ありがとうございました

1. 2023年3月期通期連結決算概要
2. 2024年3月期通期連結業績見通し
3. 株主還元（配当予想）
4. 昨年度の成果と今年度の取り組み
5. トピックス

付録：データ資料

主要な経営指標推移

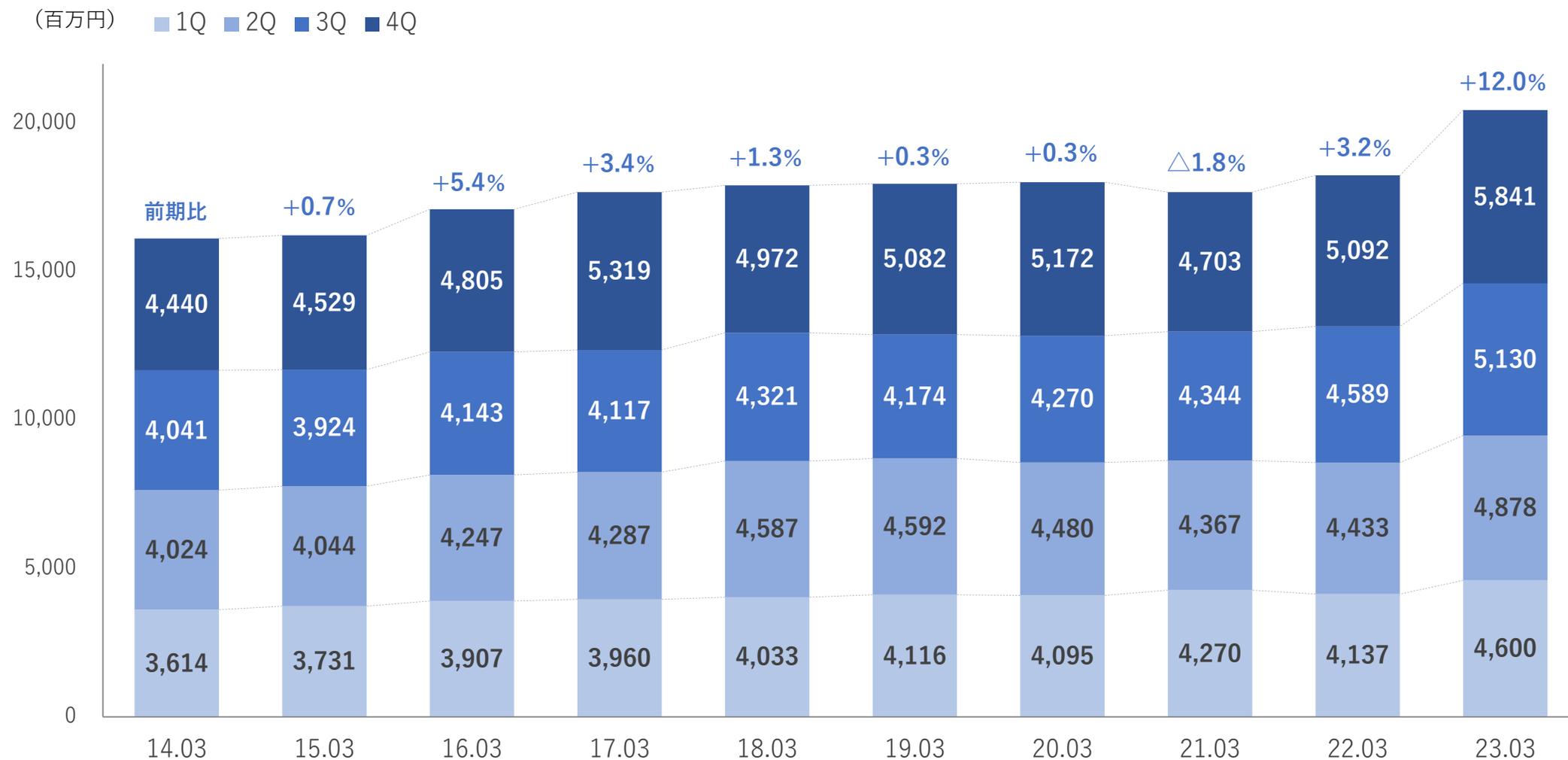
	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期 (予想)
売上高	17,913	17,964	18,017	17,684	18,251	20,449	21,000
増減率	(+1.3)	(+0.3)	(+0.3)	(△1.8)	(+3.2)	(+12.0)	(+2.7)
営業利益	1,826	1,983	1,940	1,870	2,226	2,544	2,400
率(対売上高)	(10.2)	(11.0)	(10.8)	(10.6)	(12.2)	(12.4)	(11.4)
増減率	(△0.4)	(+8.6)	(△2.2)	(△3.6)	(+19.0)	(+14.3)	(△5.7)
経常利益	2,015	2,168	2,279	2,138	2,466	2,742	2,560
当期純利益	1,362	1,444	1,266	1,363	1,631	2,210	1,760
率(対売上高)	(7.6)	(8.0)	(7.0)	(7.7)	(8.9)	(10.8)	(8.4)
増減率	(+4.4)	(+6.0)	(△12.3)	(+7.7)	(+19.6)	(+35.5)	(△20.4)
1株あたり 当期純利益(EPS)	119.99	127.24	111.53	120.09	145.66	199.03	158.48
純資産	11,419	12,699	13,588	15,171	16,101	17,911	
株主資本利益率(ROE)	12.6%	12.0%	9.6%	9.5%	10.4%	13.0%	
1株あたり配当額	19.3円	21円	22円	22円	23円	26円	27円
配当性向	16.1%	16.5%	19.7%	18.3%	15.7%	13.1%	17.0%
社員数(連結)	1,412	1,446	1,490	1,530	1,507	1,553	
採用人数	94	92	116	60	102	135	

(単位：百万円)

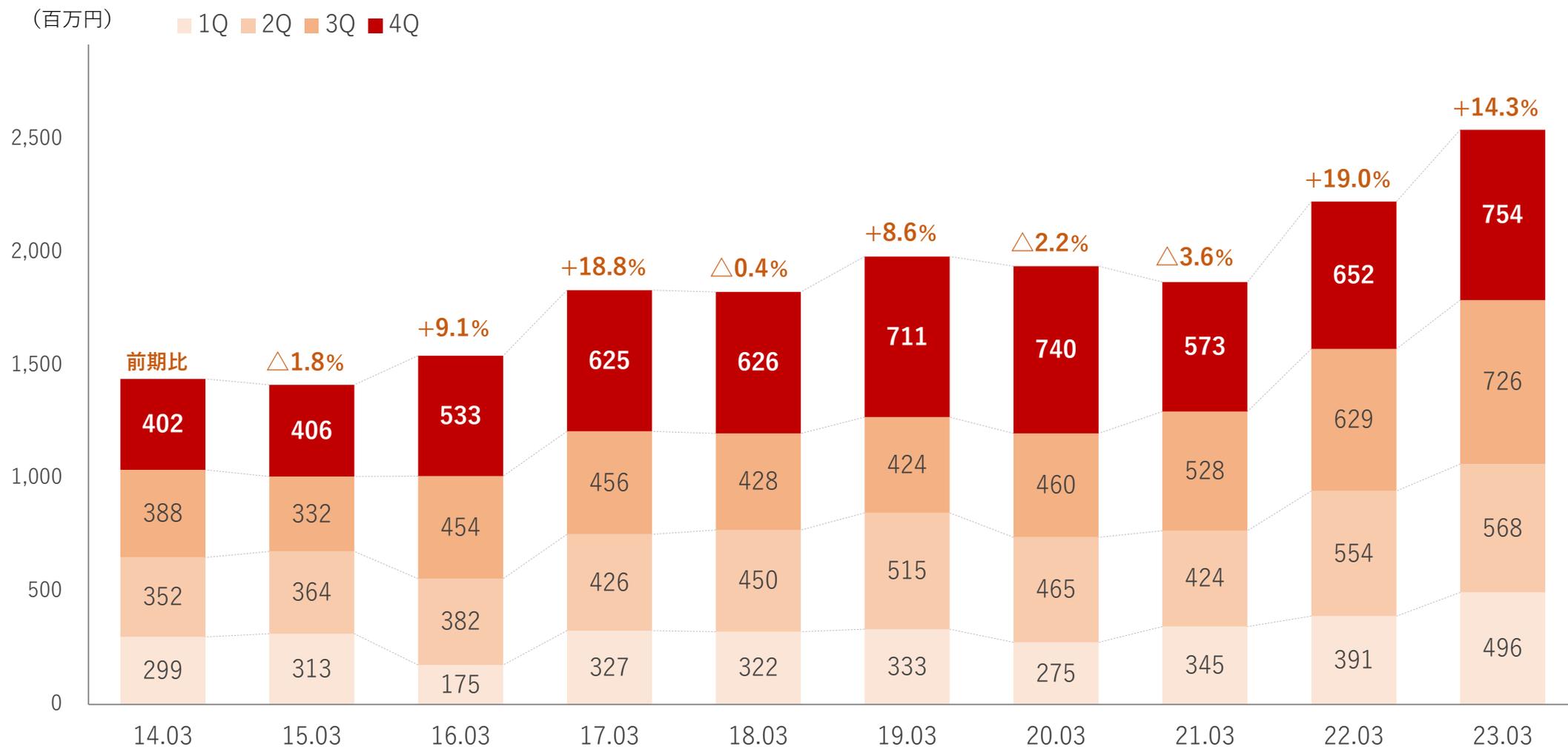
株価と出来高の推移



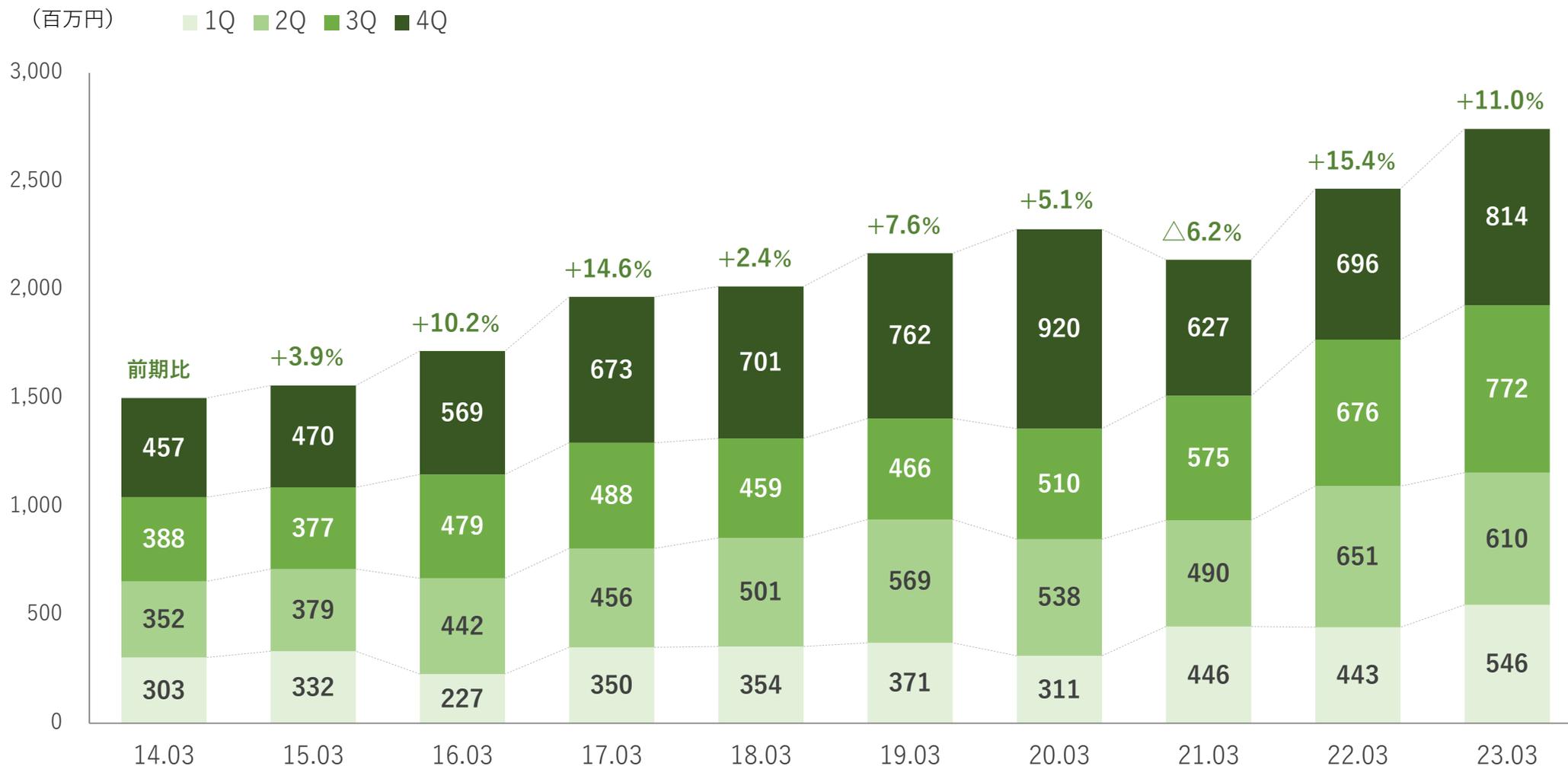
売上高の推移（2014.3～2023.3）



営業利益の推移 (2014.3~2023.3)

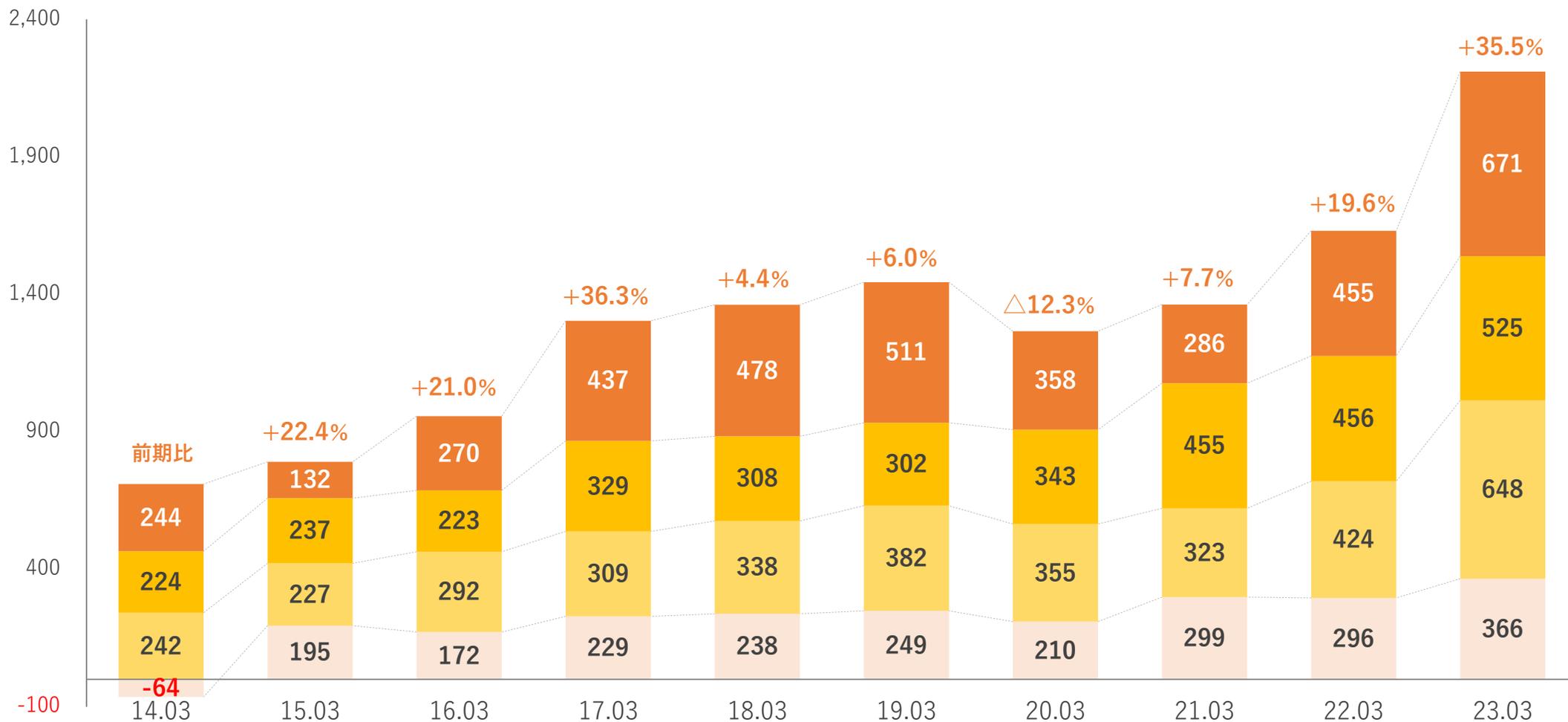


経常利益の推移 (2014.3~2023.3)



当期純利益の推移 (2014.3~2023.3)

(百万円) 1Q 2Q 3Q 4Q



会社概要

社名	株式会社エヌアイデイ (英社名：Nippon Information Development Co.,Ltd.)
所在地	東京都中央区晴海1-8-10
設立	1967年5月
資本金	6億5,335万円
事業内容	システム開発事業、システムマネジメント事業、その他事業
連結子会社	4社（NID・MI<千葉県>、NID東北<宮城県>、NID air<東京都>、テニック<東京都>）
社員数	連結：1,553名 単体：1,003名（2023年3月末現在）
発行済株式数	13,109,490株
株主数	738名（2023年3月末現在）

事業の概要

その他事業

エヌアイデイ/NID・MI/NID air

2023年3月期 売上高

1,640百万円

- データソリューション分野
- 人材派遣分野
- プロダクト分野

システムマネジメント事業

エヌアイデイ

2023年3月期 売上高

4,938百万円

- 運輸・通信分野
- 金融・保険分野
- 官公庁・団体分野
- 建築・製造分野
- 卸売・小売分野
- その他分野

システム開発事業

エヌアイデイ/NID・MI/
NID東北/テニック

2023年3月期 売上高

13,869百万円

- 金融分野
- 情報・通信分野
- 公共・社会インフラ分野
- カーエレクトロニクス分野
- FA・装置制御分野
- 官公庁・その他分野

